

第4期今治市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定業務  
プロポーザル企画提案 評価項目及び評価基準

1 基本方針

本業務の受託者の選定にあたっては、「第4期今治市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定業務仕様書」などの関係書類を基本としたうえで、提出された企画提案書の内容やヒアリングでの説明、質疑応答から各提案者の次の項目について、評価を行い受託候補者の順位づけを行う。

- (1) 専門技術
- (2) 実施体制
- (3) 同種同規模業務の実施
- (4) 実施方針
- (5) 工程計画
- (6) 取組意欲・信頼性
- (7) 見積価格

2 各項目の評価の視点

(1) 専門技術

本業務を請け負うにあたっての基本的な考え方を審査する。

- ① 地域福祉計画及び地域福祉活動計画について、制度の内容や、計画策定全般についての理解があることが見受けられるか。
- ② 盛り込むべき内容への理解があることが見受けられるか。

(2) 実施体制

本業務を実施するにあたっての実施体制及び管理責任者の経歴、実績について審査する。

- ① 予定された担当者の経験（実績）がどれくらいあるか。
- ② 責任者及び担当者の能力が的確であり、配置される人員による組織運営体制が適正であり、業務履行期間内の連絡体制の確保等が十分になされることが確認できるか。

(3) 同種同規模業務の実施

過去5年以内の類似業務の実績について審査する。

- ① 官公庁等における類似事業の実績があるか。

(4) 実施方針

実施方針について仕様書の項目ごとに審査する。

- ① 今治市の地理的条件、人口推移、福祉の現状などを踏まえた提案がなされているか。
- ② 今治市の独自性が見受けられ、市の将来像を見据えた提案となっているか。
- ③ 提案書が論理的かつ的確に構成され、分かりやすくなっているか。

- ④ 専門用語には、脚注をつけるなどして、評価者に理解しやすい配慮がなされているか。

(5) 工程計画

工程を検証し、業務実施に支障はないか審査する。

- ① スケジュール案が図表等で具体的になっているか。  
 ② 段取り等が分かりやすくなっているか。  
 ③ 提案された内容とスケジュール案が実現可能なものとなっているか。

(6) 取組意欲・信頼性

プロポーザルに対する取組意欲・信頼性について審査する。

- ① 自由提案内容は、実施可能であり効果が高いか。  
 ② 社会福祉協議会と計画を協働策定するにあたり、取組や策定支援体制について、具体的な記述があるか。

(7) 見積価格

業務実施に支障がなく、最小限の費用で効果的な実施が期待できるか審査する。

- ① 仕様に沿った価格が提示され、業務実施に支障はないか。  
 ② 最小限の費用で、効果的な実施が期待できる提案がなされているか。

3 評価項目及び配点

評価は、200点を満点とし、評価項目別に次のように配点する。

評価項目		配点 (満点時)
業務遂行力	(1) 専門技術 (20点)	
	① 地域福祉計画及び地域福祉活動計画について、制度の内容や、計画策定全般についての理解があることが見受けられるか。	10
	② 盛り込むべき内容への理解があることが見受けられるか。	10
	(2) 実施体制 (20点)	
	① 予定された担当者の経験(実績)がどれくらいあるか。	10
	② 責任者及び担当者の能力が的確であり、配置される人員による組織運営体制が適正であり、業務履行期間内の連絡体制の確保等が十分になされることが確認できるか。	10
	(3) 同種同規模業務の実施 (20点)	
	① 官公庁等における類似事業の実績があるか。	20

企画提案力	(4) 実施方針 (40 点)	
	① 今治市の地理的条件、人口推移、福祉の現状などを踏まえた提案がなされているか。	10
	② 今治市の独自性が見受けられ、市の将来像を見据えた提案となっているか。	10
	③ 提案書が論理的かつ的確に構成され、分かりやすくなっているか。	10
	④ 専門用語には、脚注をつけるなどして、評価者に理解しやすい配慮がなされているか。	10
	(5) 工程計画 (20 点)	
	① スケジュール案が図表等で具体的にになっているか。	10
	② 提案された内容とスケジュール案が実現可能なものとなっているか。	10
取組姿勢	(6) 取組意欲・信頼性 (20 点)	
	① 自由提案内容は、実施可能であり効果が高いか。	10
	② 社会福祉協議会と計画を協働策定するにあたり、取組や策定支援体制について、具体的な記述があるか。	10
見積金額	(7) 見積価格 (60 点)	
	① 仕様に沿った価格が提示され、業務実施に支障はないか。	30
	② 最小限の費用で、効果的な実施が期待できる提案がなされているか。	30
合 計		200

#### 4 評価

(1) 評価項目 (1) から (6) および (7) の①評価の際には、下表に示す評価基準に基づき A から F までの 6 段階で評価を行い、評価項目ごとの配点に乗じて評価点を算出する。

評価	評価基準	配点の倍率
A	優れている	×1
B	やや優れている	×0.8
C	普通	×0.6
D	やや劣っている	×0.4
E	劣っている	×0.2
F	要件を満たしていない。または、示されていない。	×0

(2) 前項評価項目 (7) の②評価の際には、提案者の見積価格に応じ下表のとおり評価

点を算出する。

評価基準及び配点の倍率（小数点以下切り捨て）	
評価点（30点）×	$\frac{\text{最低見積価格}}{\text{提案者見積価格}}$

## 5 受託候補者の決定方法

選定委員の評価に従い順位づけを行う。ただし、評価項目（1）から（7）の①にかかる全委員の平均得点が6割（102点）に満たない場合は要求水準を満たしていないとみなして、受託候補者とししない。

（最高評価の者が複数いる場合の順位づけ）

- ① 企画提案内容の評価が高い者
- ② ①が複数いる場合は、提案金額の最も安価な者